

「共同祈願をささげましょう」

主任司祭 吉池 好高

この一年連載中のミサ式次第をたどる講話も共同祈願の部分まで進んでまいりました。

共同祈願はミサの中で、唯一わたしたち自身のことばをもって祈ることができる部分です。日々それぞれに祈っていることばを思い起こしながら、日常のことばをもって、ともにミサの場で祈りましょう。

共同祈願はその名のとおり、共同体の中からささげられる祈りです。その内容は、私たちの日々の祈りを集めた祈りを目指しています。わたしたちは日々の祈りの中で何を祈っているのでしょうか。もちろん、自分のため、自分の家族のために祈っていますが、それだけではなく、身近な人たちのため、特に、わたしたちの気にかかっている困難の中にある人々、苦しんでいる人のために祈っています。さらには、ともに生きるわたしたちの社会が全体として平和のうちに、皆が幸せでいることができるように祈ります。

祈りには制限といったものはありません。同じ地球上に住む全ての人々が平和のうちに過ごすことが出来るよう祈ります。平和こそが、神さまからの最大の恵みです。わたしたちは平和を願いながらも、自らそれを脅かすような仕業に陥りやすいことを経験しているからです。わたしたちに先立ってこの世を去った全ての人、特に、最近わたしたちのもとを去った親しい人々のために祈ります。

今年は災害の多い年でした。災害や痛ましい事件に巻き込まれてこの世の生を終えねばならなかった人々のために、神さまの慈しみに委ねて祈ります。わたしたちの祈りがミサの奉献を通して神さまのみもとに届きますように。わたしたちの祭司である主イエス・キリストのみもとに集まって、畏れることなくわたしたちの願いを打ちあげましょう。

ミサの祈りを祈ることによって、わたしたちのカトリック信者としての霊性が形作られ、成熟してゆくなら、それは素晴らしいことです。